



イオン北海道からみなさまへ

障がい者福祉向上のために



イオン札幌
発寒店



イオン
帯広店



マックスバリュ
手宮店



マックスバリュ
名寄店

イオン北海道は「イオン社会福祉基金ボランティア活動」を実施しています

イオンは、全国の障がい者の方々の社会活動への参加促進、障がい者福祉の向上を図ることを目的に、1977年に「イオン社会福祉基金」を設立しました。この基金は労使双方がひとり当たり毎月50円ずつ(労使双方で100円)を積み立てるもので、「福祉車両の贈呈」と「ボランティア活動」を柱とした社会福祉活動を行っています。

道内ではこれまでに岩見沢市、名寄市、旭川市、苫小牧市、帯広市の障がい者

福祉施設に福祉車両の贈呈を行いました。また、従業員が施設を訪問し、クリスマス会や新年交流会での交流、清掃のお手伝いを行うなど福祉活動を実施しています。2022年度は新型コロナウイルスの影響を鑑み、施設で必要となる物品の提供などを中心に活動を実施しました。

当社はこれからも、障がい者福祉向上の一助となるべく、ボランティア活動を継続してまいります。



SDGsの取り組み



SDGs (持続可能な開発目標) とは、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。この取り組みによりSDGsの目標3、10、17の達成に貢献します。